

札幌新まちづくり計画市民会議／環境・都市機能分科会

H15年12月22日

(太田 幸雄 記)

今後の3年間で実行可能な施策・対策

○除雪および冬季の交通対策：市民からの要望が最も多い

- ・除雪排雪 → 民間業者による除雪事業の展開：市として援助
- ・ツルツル道路対策
 - 公共車（ゴミ収集車、バトカー、除雪車など）：スパイクタイヤを着用する
 - 氷碎車（機）？の試作・実用化

○年間を通しての交通対策

- 中心部は、原則として自家用車の乗り入れを禁止し、
- 無料あるいは100円バスを札幌駅～中島公園間に運行させる

○駅前～大通の地下街新設：解放感のある地下街とする

- 大通りへの客の誘導

○サステナブルシティとしてのさっぽろ

- ・CO₂排出量を削減するまちづくり
 - 除雪に要するエネルギーを削減する
 - 渋滞のない交通システムへの転換
 - コジェネレーションの推進
- ・ゴミの排出を削減するまちづくり
 - 再資源化
 - 木質バイオマスのエネルギー利用
 - プラスティック系ゴミのエネルギー利用

○少子高齢化社会における札幌の住宅分布（配置）は？

- ・若年家族 → 郊外の大きめの一戸建て住宅
 - ・老年世帯 → 中心部のマンションあるいは小規模一戸建て住宅
- 年齢による住み分けが起きるのでは？